

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ローランド株式会社

コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 田村 尚之

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 053-523-3652

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	40,250	10.9	3,103	1,426.6	3,105	—	803	—
25年3月期第2四半期	36,278	△1.9	203	—	△30	—	△223	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 4,860百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	33.80	—
25年3月期第2四半期	△9.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	79,157	61,977	61,977	57,749	56.5	1,878.71
25年3月期	77,341	57,749	57,749	54.1	54.1	1,760.66

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 44,686百万円 25年3月期 41,878百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	5.00	12.50
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,300	16.6	5,800	—	5,600	—	△600 ～△100	—	△25.23 ～△4.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当期純利益については、特定数値による予想が困難であるため、レンジ形式で表示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	23,835,796 株	25年3月期	23,835,796 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	50,087 株	25年3月期	50,000 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	23,785,770 株	25年3月期2Q	23,786,487 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は平成25年11月6日(水)に当社ホームページに掲載します。

・当社は、平成25年11月13日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結経営成績

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期累計	平成26年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	36,278	40,250	+3,971	+10.9%
電子楽器事業	20,224	20,302	+77	+0.4%
コンピュータ周辺機器事業	16,053	19,947	+3,893	+24.3%
営業利益又は営業損失(△)	203	3,103	+2,900	+1,426.6%
電子楽器事業	△585	262	+848	—
コンピュータ周辺機器事業	788	2,840	+2,052	+260.3%
経常利益又は経常損失(△)	△30	3,105	+3,136	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△223	803	+1,027	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期累計	平成26年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
電子楽器	7,522	7,590	+67	+0.9%
ギター関連電子楽器	4,069	3,784	△285	△7.0%
家庭用電子楽器	5,181	5,135	△45	△0.9%
映像・音響及び コンピュータ・ミュージック機器	2,249	2,596	+347	+15.4%
その他	1,201	1,195	△6	△0.5%
電子楽器事業	20,224	20,302	+77	+0.4%
コンピュータ周辺機器事業	16,053	19,947	+3,893	+24.3%
合計	36,278	40,250	+3,971	+10.9%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期累計	平成26年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
日本	4,593	4,228	△365	△7.9%
北米	5,624	5,725	+100	+1.8%
欧州	6,276	6,314	+38	+0.6%
その他	3,730	4,034	+304	+8.2%
電子楽器事業	20,224	20,302	+77	+0.4%
日本	2,000	2,072	+71	+3.6%
北米	4,139	5,705	+1,566	+37.8%
欧州	5,217	6,784	+1,567	+30.0%
その他	4,695	5,384	+689	+14.7%
コンピュータ周辺機器事業	16,053	19,947	+3,893	+24.3%
合計	36,278	40,250	+3,971	+10.9%

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、日本では個人消費が持ち直しの傾向にあり、景気は緩やかに回復しました。北米においても緩やかに回復しましたが、欧州では一部で景気下げ止まりの兆しが見られたものの、財政問題の影響により総じて弱い動きで推移しました。一方、中国をはじめとする新興国では、成長鈍化の傾向が見られました。

このような状況の中、電子楽器事業は、製品別では、ステージ用オルガンの新製品やシンセサイザー音源モジュール、自動伴奏機能付きキーボード等が好調に推移しましたが、主力品目であるドラム、ピアノ、ギター用エフェクター等の既存製品が前年同期を大幅に下回り、厳しい結果となりました。

地域別では、主要市場である日本、北米、欧州において販売の低迷が継続し、実質的に大幅な販売減となりました。その他地域では、豪州が前年同期を上回り、アジアは前年同期並みに推移しましたが、中南米の販売減が響き、地域全体では前年同期を下回りました。

結果、売上高は、実質的には前年同期を下回ったものの、円安の影響により203億2百万円（前年同期比0.4%増）となりました。利益面では、事業構造改革の一環として前期末に実施した人員削減や経費削減等に加え、円安の影響もあり、営業利益は2億62百万円（前年同期は5億85百万円の営業損失）となりました。

コンピュータ周辺機器事業では、主力品目であるプリンターやサプライにおいては、前期及び当期に投入した大型インクジェットプリンターの新製品が好調だったことにより、前年同期を上回りました。また、工作機器も、デンタル加工機DWXシリーズが堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。

地域別では、北米や日本においては、プリンターの新製品やデンタル加工機等を中心に好調な販売となり、前年同期を上回りました。また、欧州においては、厳しい景気低迷の影響を受けたものの、プリンターの新製品が好調だったことに加え、円安の影響等もあり、前年同期を上回る結果となりました。その他地域では、韓国やASEAN地域において、販売体制の見直しの影響で伸び悩んだものの、中国では、現地のサイン製作のニーズに対応した大型インクジェットプリンターやデンタル加工機が堅調に推移し、前年同期を上回りました。

結果、売上高は、円安の影響もあり、199億47百万円（前年同期比24.3%増）、営業利益は、販売費及び一般管理費は増加したものの、原価率の大幅な改善等により、28億40百万円（前年同期比260.3%増）となりました。

以上の結果、全体の売上高は、402億50百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は31億3百万円（前年同期比1,426.6%増）、経常利益は31億5百万円（前年同期は30百万円の経常損失）となりました。また、最終損益は、税費用や少数株主への利益振替等により、8億3百万円の四半期純利益（前年同期は2億23百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における平均為替レート（※）は、96円/米ドル（前年同期80円）、126円/ユーロ（前年同期103円）でした。

（※）海外連結子会社の事業年度は1～12月のため、平成25年1月～平成25年6月の平均レートとなります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

### 【電子楽器事業】

#### [電子楽器]

ステージ用ピアノとステージ用オルガンは、それぞれ新製品が貢献し前年同期を上回りました。ドラムは、折りたたみ可能な新製品が貢献しましたが、前期に主力新製品の入れ替え需要が大きかった北米、欧州、中南米で大幅に減少しました。シンセサイザーは、歴代の代表的音色を多数搭載した音源モジュールが前期に引き続き好調を維持したものの、鍵盤型の主力既存製品が北米や中南米を中心に大幅減となりました。結果、電子楽器の売上高は、実質的には販売減となりましたが、円安の影響もあり、75億90百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

#### [ギター関連電子楽器]

ギター用エフェクターは、前期に発売した新技術搭載のコンパクト・エフェクターやループ機能を搭載した新製品が堅調に推移しましたが、市場競争の激化により既存製品が前年同期を大幅に下回りました。ギター・シンセサイザーは、前期に発売した新製品の反動により大幅に減少しました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は、37億84百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

#### [家庭用電子楽器]

電子ピアノは前期下半期に投入した多機能タイプの製品が堅調に推移しましたが、単機能タイプの製品は、前年同期に新製品を投入した反動により、日本、北米、欧州を中心に前年同期を大幅に下回りました。一方、オルガンや自動伴奏機能付きキーボードは好調に推移し、前年同期を上回りました。結果、家庭用電子楽器の売上高は、51億35百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

#### [映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

コンピュータ・ミュージック機器は、音楽用ソフトウェアが前年同期を下回りましたが、パソコン用のオーディオ・インターフェースや入力用鍵盤機器が前年同期を上回り微増となりました。音響機器は、iPadに対応したミキサーの新製品が貢献し、前年同期を上回りました。映像機器も、日本で前期に発売したビデオ編集機の販売が減少しましたが、ビデオミキサーの新製品が北米を中心に好調で前年同期をわずかに上回りました。結果、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、25億96百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

#### [その他]

通信カラオケ機器用音源は、日本で前年同期を下回ったもののアジアで好調に推移し、前年同期並みとなりました。また、音楽教室は、少子化による生徒数の減少等により、前年同期を下回りました。結果、その他の売上高は、11億95百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

以上の結果、電子楽器事業の売上高は、203億2百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

### 【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、主力のサイン市場に向けた大型インクジェットプリンターの新製品が、既存ユーザーの買い替え需要を中心に好調に推移しました。また、優れた品質と低価格を両立したプリンターの新製品も、新興国市場を中心に順調な販売となりました。さらに当期は、出力スピードを高めたプロ用機種の新製品を発売し、大手サイン業者への販売を中心に、順調な立ち上がりを見せました。

工作機器は、ものづくり分野に向けた、主力の切削加工機が堅調に推移しました。また、デンタル加工機は、義歯の製作プロセスをトータルソリューションとして提案できる体制づくりや、販売網の開拓・整備が着実に進んだことが奏功し、北米や欧州のほか、中国や日本においても販売が拡大しました。

サプライ品は、プリンターの販売が好調だった北米に加え、欧州や日本を中心にインクの販売が増加しました。

以上の結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、199億47百万円（前年同期比24.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較して18億16百万円増加し、791億57百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品が7億78百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が5億7百万円、原材料及び貯蔵品が3億12百万円、未収金等を含むその他流動資産が12億28百万円それぞれ増加し、また在外関係会社の前会計年度末である平成24年12月末から第2四半期会計期間末である平成25年6月末にかけての主要国通貨に対する円安進行を受け、在外関係会社の財務諸表の円換算額が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して24億11百万円減少し、171億80百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が5億80百万円増加した一方、短期借入金が20億19百万円、未払金等を含むその他流動負債が10億37百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して42億28百万円増加し、619億77百万円となりました。その主な要因は、上述の円安進行により為替換算調整勘定が20億51百万円増加したこと、また四半期純利益が8億3百万円あった一方、剰余金の配当が1億18百万円あったことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産、純資産それぞれの増加を受け、前連結会計年度末と比較して2.4ポイント増加し、56.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354	3,093	1,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,934	△1,197	737
財務活動によるキャッシュ・フロー	513	△2,754	△3,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81	864	946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△148	7	155
現金及び現金同等物の期首残高	14,063	17,207	3,144
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	460	—	△460
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	14,375	17,214	2,838

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、172億14百万円となり、前第2四半期末に比べ、28億38百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、30億93百万円の資金の収入があり、前第2四半期連結累計期間と比べ、17億39百万円の収入の増加となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、売上債権の増加(資金の減少)、その他流動資産の増加(資金の減少)があった一方、税金等調整前四半期純利益が増加したこと、たな卸資産が減少(資金の増加)したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、11億97百万円の資金の支出となり、前第2四半期連結累計期間と比べ、7億37百万円の支出の減少となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、固定資産の取得による支出や子会社の自己株式取得による支出があった一方、前第2四半期連結累計期間においては、関係会社株式の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、前第2四半期連結累計期間は5億13百万円の資金の収入であったのに対し、当第2四半期連結累計期間は27億54百万円の資金の支出となりました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間において長期借入れによる収入があった一方、当第2四半期連結累計期間においては短期借入金の返済による資金の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日に公表しました通期業績予想につきまして見直しを行いました。

なお、詳細につきましては、本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「海外子会社の解散・清算および特別損失の発生に関するお知らせ」で開示しています。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,450,652	17,622,525
受取手形及び売掛金	10,246,794	10,754,573
有価証券	—	64,270
商品及び製品	16,271,365	15,493,026
仕掛品	329,303	422,731
原材料及び貯蔵品	4,282,421	4,594,656
その他	3,524,560	4,753,123
貸倒引当金	△351,537	△415,012
流動資産合計	51,753,561	53,289,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,284,444	21,844,666
機械装置及び運搬具	3,136,187	3,287,786
工具、器具及び備品	11,187,949	11,615,300
土地	8,147,553	8,278,601
建設仮勘定	128,324	67,717
減価償却累計額	△25,919,745	△27,024,459
有形固定資産合計	17,964,712	18,069,612
無形固定資産		
のれん	843,326	864,661
ソフトウェア	831,965	881,566
ソフトウェア仮勘定	163,462	191,069
その他	151,537	146,157
無形固定資産合計	1,990,292	2,083,454
投資その他の資産		
投資有価証券	1,908,565	2,021,501
その他	3,887,672	3,905,330
貸倒引当金	△163,800	△212,117
投資その他の資産合計	5,632,437	5,714,715
固定資産合計	25,587,442	25,867,782
資産合計	77,341,003	79,157,675



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,660,144	2,219,343
短期借入金	4,316,106	2,296,622
1年内返済予定の長期借入金	403,648	404,173
未払法人税等	304,311	884,621
賞与引当金	1,068,482	1,388,936
役員賞与引当金	—	50,000
製品保証引当金	397,768	421,024
その他	5,747,281	4,710,228
流動負債合計	14,897,744	12,374,951
固定負債		
長期借入金	603,207	401,303
繰延税金負債	568,563	628,181
再評価に係る繰延税金負債	164,155	164,155
退職給付引当金	809,152	849,296
その他	2,548,920	2,762,473
固定負債合計	4,693,999	4,805,409
負債合計	19,591,744	17,180,360
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,800,378	10,800,378
利益剰余金	27,569,796	28,254,856
自己株式	△50,141	△50,220
株主資本合計	47,594,306	48,279,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,620	297,162
土地再評価差額金	△1,453,231	△1,453,231
為替換算調整勘定	△4,487,969	△2,436,820
その他の包括利益累計額合計	△5,715,579	△3,592,889
少数株主持分	15,870,532	17,290,917
純資産合計	57,749,259	61,977,314
負債純資産合計	77,341,003	79,157,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	36,278,455	40,250,125
売上原価	21,694,320	21,640,097
売上総利益	14,584,135	18,610,028
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,432,821	1,503,233
貸倒引当金繰入額	84,294	60,674
給料及び賞与	6,645,176	7,129,529
賞与引当金繰入額	575,932	641,863
役員賞与引当金繰入額	—	50,000
製品保証引当金繰入額	120,490	114,498
その他	5,522,132	6,006,792
販売費及び一般管理費合計	14,380,847	15,506,591
営業利益	203,287	3,103,436
営業外収益		
受取利息	41,244	42,475
受取配当金	32,715	37,068
為替差益	—	142,238
その他	124,032	139,106
営業外収益合計	197,991	360,888
営業外費用		
支払利息	29,567	41,878
売上割引	276,592	278,390
為替差損	97,468	—
その他	28,371	38,605
営業外費用合計	432,000	358,874
経常利益又は経常損失(△)	△30,720	3,105,449
特別利益		
固定資産売却益	28,009	20,002
投資有価証券売却益	3,733	—
特別利益合計	31,743	20,002
特別損失		
固定資産除売却損	61,049	17,664
投資有価証券売却損	243	—
特別損失合計	61,292	17,664
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60,270	3,107,786
法人税、住民税及び事業税	518,858	1,236,727
法人税等調整額	△469,646	△103,099
法人税等合計	49,211	1,133,627
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△109,481	1,974,158
少数株主利益	114,343	1,170,170
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△223,825	803,988

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△109,481	1,974,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160,231	73,743
土地再評価差額金	22,617	—
為替換算調整勘定	21,026	2,812,754
その他の包括利益合計	△116,587	2,886,498
四半期包括利益	△226,068	4,860,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△354,183	2,926,678
少数株主に係る四半期包括利益	128,114	1,933,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60,270	3,107,786
減価償却費	1,050,461	955,422
のれん償却額	64,266	135,414
受取利息及び受取配当金	△73,959	△79,543
支払利息	29,567	41,878
為替差損益(△は益)	141,011	462,724
固定資産除売却損益(△は益)	33,039	△2,337
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,490	—
売上債権の増減額(△は増加)	△120,925	△637,737
たな卸資産の増減額(△は増加)	△886,120	1,889,160
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,018,332	△701,033
仕入債務の増減額(△は減少)	157,051	△1,281,860
その他	248,387	△68,644
小計	1,597,352	3,821,231
利息及び配当金の受取額	65,544	83,920
利息の支払額	△32,186	△48,142
事業構造改革費用の支払額	—	△92,584
法人税等の支払額	△276,510	△670,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354,200	3,093,923
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22,099	△62,301
定期預金の払戻による収入	599,625	109,863
有形固定資産の取得による支出	△979,384	△503,496
有形固定資産の売却による収入	268,572	31,115
無形固定資産の取得による支出	△200,734	△382,123
投資有価証券の取得による支出	△124,576	△514
投資有価証券の売却による収入	13,070	—
関係会社株式の取得による支出	△1,188,662	△152,150
子会社の自己株式の取得による支出	△222,510	△219,928
出資金の払込による支出	—	△104,905
長期貸付けによる支出	△25,650	△1,625
長期貸付金の回収による収入	8,228	27,642
その他	△60,215	61,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,934,336	△1,197,148

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,005	△2,188,188
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,074	△201,955
配当金の支払額	△237,871	△118,928
少数株主への配当金の支払額	△225,252	△166,352
その他	△15,579	△78,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	513,216	△2,754,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81,409	864,797
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△148,328	7,221
現金及び現金同等物の期首残高	14,063,151	17,207,403
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	460,930	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,375,753	17,214,624

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	20,224	16,053	36,278
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,224	16,053	36,278
セグメント利益又は損失 (△)	△585	788	203

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	20,302	19,947	40,250
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,302	19,947	40,250
セグメント利益	262	2,840	3,103

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。